



■7/17「第8回通常総会」ご報告

理事長 川岸 卓哉

7月17日、第8回通常総会を川崎市総合自治会館において、3年ぶりの完全リアルで開催しました。総会で決定された活動方針をご報告いたします。

【1】市民参加の自然エネルギーによる発電事業

現在までに運転している1号機～4号機について、保守・管理をして確実な発電をし、出資者への返済と売電利益活用に充てていきます。また、新たな再生可能エネルギーの普及モデルの探索や、他団体へのノウハウ提供・協力による太陽光発電所設置の普及も目指します。

【2】原発ゼロと自然エネルギーを普及・促進させるためのセミナー・イベントなどの実施及び情報発信事業

コロナウイルスの感染が続いている状況ですが、社会は少しずつ戻ってきています。そのなかで、第8回おひさまフェス×星空上映会の開催準備を進めていきます。また、再開された視察学習企画を継続していきます。

【3】売電収入の活用

市民発電所の売電収益は「脱原発と自然エネルギーの普及」に使うという主旨に賛同いただいた多くの方からご協力を得ています。2026年度までは、出資者への返済のための積立金の確保を優先しつつ、部分的に売電収益を活用する方針です。今年度は、20～40万円の予算化が可能で、2号機の看板設置、学習会・イベント企画などの費用に活用していきます。

【4】原発ゼロ、自然エネルギーの政策提言事業

川崎地域エネルギー市民協議会に参画しながら、他団体とも連携し、川崎市政の再生可能エネルギー政策の前進のため、積極的に運動を広げます。行政・市民共同モデルとして麻生市民館・図書館屋上の太陽光発電所の事業が成功するよう努めます。

未来を作るのは、私たち市民一人一人の選択であり、声であり、地域を基礎にしたネットワークに基づく活動です。

2022年度もご協力よろしくお願いたします。



■7/17「気候戦士」上映会&ワークショップ 開催報告 ～多層的に出会う場に～

理事 高橋 喜宣



7月17日、当NPOの再エネ売電益還元事業として、映画「気候戦士」&ワークショップを川崎市自治会館ホールにて無料開催しました。

この映画は、「第4の革命 - エネルギー・デモクラシー」のフェヒナー監督が、気候変動を食い止め、地球環境を守るために立ち上がった気候活動家気候戦士たちの活動と、再生可能エネルギーへの転化へ向けた様々なムーブメン

トを追ったドキュメンタリーです。

上映学習会には56人が参加、ワークショップにも多数の方々が参加してくださいました。

ワークショップ（参加者の主体性を重視した体験型の講座、グループ学習）は、3人グループで一人3分間感想を述べ、2分間他の人の感想について述べてもらい、全員参加型を目指しました。その発想はSDGsの理念「誰一人取り残さない」にあります。映画だけで帰る人もいたので、3つの問いにポストイットだけでも書いてもらうようにしました。これは「始めるのは簡単だ。ただ鉛筆を手にとって、描けばいい」というK・ラワース著「ドーナツ経済」の言葉から発想で。書き出し、発言することが行動の第一歩につながると考えたからです。

この映画の最登場者は、トランプ前大統領とシュワルツェネッガー元カリフォルニア州知事。両者を等しく語らせているところがこの映画の味噌。「トランプさんとシュワルツェネッガーさんの勝負は？そう思った訳を一言」の問いに、14回答のうち、1回答だけが「トランプさん：色々な問題については世界的にみても上手くいってないと感じるから」、1回答のみが「引き分け：トランプ氏は雇用と経済、シュワルツェネッガー氏は環境重視する点異なる」。こうした違う意見が自分の考えを一層固める手助けになる、と著者は考えています。

この学習会で「良かったこと」のアンケート回答16件中、5人が「ワークショップで感想を共有できたこと」などワークショップの良さを選択。「この学習会で分からなかったこと（ポイント）はありますか？」のアンケートについて、「日本で変化を阻害している要因について」「映画の中には、関係の理解が追いつかない事柄がいくつかあった。再度視聴する機会があるといいと思う」。また、9才の女の子は「漢字がぜんぜん読めませんでした」と書いていたので、今後は吹き替え版も検討したいです。

「色々な人が多層的に出会う場になっているのも、いいなと思います」という応援メッセージはこの学習会のメインテーマでした。



■9/25「第8回おひさまフェス×星空上映会」のお知らせ

おひさまフェス×星空上映会 実行委員会事務局長 木下 博行（当NPO正会員）

おひさまフェス×星空上映会は「自然と共に生きる」「市民が作った電気でお祭り」をテーマに、2015年に第1回を開催し今回で8回目を迎えます。

以下をテーマに今回も「おひさまフェス×星空上映会inかわさき2022」を開催します。

1. 震災からの復興に心を寄せ、再生可能エネルギーへの関心を高める。
2. 「川崎らしい」多摩川の河川敷を会場とし、身近にある自然に親しみ魅力の再発見をする。
3. 子どもたちが自然の素材を使った遊びの楽しさを経験し、感動する心を育てる。
4. さまざまな市民団体や個人の横のつながりをつくり、「コミュニティ」力の発展・強化につなげる。

第8回 おひさまフェス×
星空上映会
in かわさき 2022
9/25 SUN. 13:00~19:00
荒天のときは中止
入場無料
at ニヶ領せせらぎ館前の多摩川河川敷

市民がつくった再生可能エネルギーを使って、音楽イベントと映画上映会。多摩川で地域がつながり人がつながる。暮らしたい未来は、自分たちで創ろう！ そんな思いをこめたお祭りです。

焼き鳥 ケバブ のみもの 食べもの おんがく 和太鼓 バンド演奏 キッズダンス

ほかにいろいろあるよ

星空上映会

出店者・出演者 募集中！ 出店、演奏者、上映内容はこれから決定していきます

再エネ&防災ひろば 災害時にこんなに役立つ再エネ！ 体験コーナーあるよ

会場河川敷

至新宿 至立川 多摩川 多摩川口 市立多摩病院 二ヶ領用水 稲田中学校 至川崎

JR南武線 小田急線 (登戸)駅 多摩川口より 徒歩約5分

※会場に駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

来場にあたりマスクの着用をお願いします。非常事態宣言の発令などにより、開催を中止することがあります。ホームページをご確認ください。

主催 おひさまフェス×星空上映会 in かわさき 実行委員会2022
共催 NPO法人 多摩川エコミュージアム
後援 川崎市、川崎市教育委員会

ohisama.hoshizora@gmail.com
http://ohisamahoshizora.strikingly.com/

発行:2022.6.10.

以上を基に、これまでの出演者・出店者に加え新たな参加を呼びかけています。

昼間は出店者のブースでの飲食提供及び展示・販売を行いながら、「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」の太陽光発電にて充電した電気自動車の電源を使いステージを楽しんでいただきます。また、このイベントの趣旨でもある再エネ&防災をテーマにした内容の展示・実演などを行います。夕暮れを迎えるころから、同電源を使って手作りスクリーンにて映画の上映を行います。

出演者には昨年も出演した腹話術の城谷まもるさんの他シャボン玉おやじも登場。「ふおとくる」など新しい団体の出店も加わっています。飲食では常連となっているケバブの店の他アフリカ料理 FOFO も出店します。

星空上映会での今年の上映作品は、「月とアザラシ」「わらしべ長者」「かぐや姫」の3本を予定しています。

運営面では、今回は若者の事務局も

加わり、HPの更新、SNSでの発信など広報面も充実、FBにはイベントページも設けています。

感染拡大に注意を払いながらも予防を徹底し、一昨年以上の盛り上がったイベントにしたいと思っています。多くの方々のご来場をお待ちしています。





「プラごみの恐怖」

ごみ出しは私の役目。生ごみの8割は庭に埋めて堆肥化。庭に太陽が当たる5月頃から9月頃まで野菜など作って収穫を楽しんでいます。プラごみは週1回出しますが、いつも袋いっぱいです。重さを計ったら500gあった。老夫婦二人で毎週こんなに出る量に恐怖を感じる。

私は道路のプラごみを拾っている。最近コロナ禍でマスクが捨ててあり、マスクを主に拾っている。マスクは素手では不衛生だから箸を使うようにしている。目についた分を拾うとなるとキリがないので適当にやっているが、目に付いた物を見過ごすのはスッキリしない。マスク1つ拾えば海の汚染を1つなくせる。

この前、地元で気候変動について学ぶ機会がありました。講師は若い女性、1990年東京出身の名取由佳氏でした。2019年、気候変動の実態を知り、外資系企業を退職し環境活動家に転身された人です。今、異常気象については誰でも心配はされていると思う。

大陸は、熱波、旱魃、洪水、山火事が頻発している実態。海はプラスチックスープとも言われ、海の生物よりプラごみの量のほうが多いとまで言われているほど汚染されていることをデータを元に語られた。そして、あと7年以内にCO2を劇的に削減しなければ地球環境は後もどり出来ないところまできている、というショッキングではあるが、この学習会は満席ではなかった。身近に感じている、具体的には人は行動できずにいる。

その後、東京新聞に「人間環境宣言から50年」という記事を読みました。1972年にストックホルムで114ヶ国の政府間会議が開かれたが、状況はむしろ悪くなっていると誰だって思う今日です。遅いかもしれないが、この化石燃料資本主義を変えなければ、日本の未来も、世界の未来も失われるという危機に立っている。



原発ゼロ市民共同かわさき発電所は、いつでも**会員募集中**です！

【編集後記】

第8回通常総会を無事に迎えることができ、感謝申し上げます。2021年度、売電電力量は合計141,766kWh、一般家庭約48世帯分を再エネで賄っていることとなります。CO2排出量削減に関しては約63トンの削減。杉の木に換算すると約4,400本植えたことになり、貢献できてスカッとする。(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は、ほぼ隔月15日に発行しています。

